

# 伊丹市行財政プラン(H28年度～H32年度)



## ◆ 財政規律及び財政指標の目標

### <財政規律>

項目	細目	H28年度予算	規律
政策的・投資的事業の取組方針	投資的経費(インフラ・その他分)に係る一般財源	6.4億円	5年間で25億円以内 (原則毎年度当たり5億円以内)
	投資的経費(再配置計画推進分)に係る一般財源	3.3億円	5年間で50億円以内 (原則毎年度当たり10億円以内)
	政策的経費に係る一般財源	3.1億円	5年間で25億円以内 (原則毎年度当たり5億円以内) (行革努力による削減効果の範囲内)
市債の管理方針	投資的経費(インフラ・その他分)に係る市債発行額	12.1億円	5年間で75億円以内 (原則毎年度当たり15億円以内)
	投資的経費(再配置計画推進分)に係る市債発行額	14.3億円	5年間で175億円以内 (原則毎年度当たり35億円以内)
基金の管理方針	財政調整基金	「-」※1	決算剰余金の2分の1以上を財政調整基金に優先的に積み立て、残高目標到達後は公債管理基金に継続的に積立
	公債管理基金	「-」※1	
	公共施設等整備保全基金	4.2億円積立 (1.5億円積立)※2	30年間の見込額平均(約7.5億円)を基準に積立及び処分 別途、毎年度1.5億円(市庁舎分)積立
	一般職員退職手当基金	3.1億円積立	30年間の見込額平均(約7億円)を基準に積立及び処分

### <財政指標の目標>

項目	細目	H28年度予算	目標値
基金残高	標準財政規模に対する財政調整基金の割合	17.0%	H32年度までに20%
健全化判断比率	実質赤字比率※3	「-」	「-」
	連結実質赤字比率※4	「-」	「-」
	実質公債費比率※5	8.8%	H32年度で7%～11%程度
	将来負担比率※6	18.4%	H32年度で50%～90%程度
	資金不足比率※7	「-」	「-」
	経常収支比率	94.8%	計画期間中95%以下を維持

※1 予算時点で積み立てがない場合は「-」と標示。

※2 ( )内は庁舎積み立て分を外書き。

※3 実質赤字がない場合は「-」と表示。(早期健全化基準11.50%、財政再生基準20.0%)

※4 連結実質赤字がない場合は「-」と表示。(早期健全化基準16.50%、財政再生基準30.0%)

※5 実質公債費比率は3年平均。(早期健全化基準25.0%、財政再生基準35.0%)

※6 将来負担額が公債費充当可能財源等を下回る場合は「-」と表示。(早期健全化基準350.0%)

※7 資金不足額がない場合は「-」と表示。(経営健全化基準20.0%)